

証券コード：2397

第17期 事業報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

株主の皆様へ



代表取締役社長
的場 亮

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨今の遺伝子を中心としたバイオテクノロジー技術の進歩は目覚ましく、それらを利用した新しい発見や研究成果などから、医療分野への応用が広がっています。一方で、世界的な超高齢化社会を迎えるにあたり、我々は、労働力の減少、年金や社会保障の問題など、様々な社会問題を抱えています。特に、国民医療費は年々増加し、国の財政の多くを占めており、これを解決するためには、予防医療のための（病気にならないための）新しい診断ツール開発が期待されています。

DNAチップ研究所は設立以来、ライフサイエンス分野を通じて、遺伝子やゲノムのエキスパートとして優れた技術開発

をしながら、世の中に役立つ、研究開発、商品開発を行い、サービスを展開してまいりました。そしてさらに、情報化時代に即した、最新の技術を取り入れるとともに、独自技術開発により最先端の研究開発ができる体制を整えて、誰もが健やかに、幸せに暮らせるための診断ツール開発を行ってまいります。

当期の経営成績

当期におけるわが国経済は、政府および日銀の各種政策の効果により、企業収益や雇用情勢が改善されるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、個人消費については、長引く消費税増税の影響に加え、実質賃金の伸び悩みなどから消費者の節約志向は強く、また、中国経済を始めとした不安定な海外経済の動向も懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

当社を取り巻くライフサイエンス分野においては、抗体医薬品の開発が活発に行われており、癌および自己免疫疾患などを中心に、今後の医療へのさらなる貢献が期待されています。

また、血液や唾液等から遺伝子を解析し、その結果から疾病罹患リスク、体質を判定する一般消費者向け（DTC）遺伝子検査サービスについて、IT企業などからの新規参入があり、市場が大きく拡大しています。

一方、iPS細胞などを利用した再生医療などの新たな治療薬の開発が進捗し始め、政府による大型研究開発プロジェクトの推進、また、国内の大手製薬企業が新しい研究開発をスタートさせるなど、再生医療産業が活発になっております。

さらに、2015年4月には、医療分野の研究開発およびその環境整備の中核的な役割を担う機関として、日本医療研究開発機構（AMED）が設立され、基礎研究から実用化まで各府庁横串で一貫したマネジメントのもと実施されるようになりました。このような環境変化は、当社が属するライフサイエン

ス業界にとって、研究成果の早期実用化を推進するなど、今後の明るい材料となっております。

このような状況下において当社は、方針を「開発力強化と事業化加速」と定め、オープンイノベーション、最新の技術の事業化およびグローバル化を進めることにより、研究受託事業の拡充と診断事業の強化を目指しております。

この結果、当期の売上高は、284百万円（前期比79.4%）、営業損失は178百万円で、経常損失は178百万円、当期純損失は203百万円となりました。

研究受託事業

研究受託事業におきましては、大学や研究機関、製薬・食品会社などを主要な顧客としてDNAチップ関連の解析や統計処理、カスタムチップの設計などを行っております。主なサービスは、マイクロアレイを使用した受託解析サービスと次世代シーケンス解析サービスがあります。

i. 受託解析サービス

マイクロアレイを使用した受託解析サービスでは製薬・食品会社などの顧客に積極的な提案型営業を行うとともに、大学病院、研究機関などの顧客にはきめ細かなフォローを推進しております。また、「エクソソーム解析受託」や「再生医療研究分野に向けた間葉系幹細胞の品質評価解析サービス（C3チェックサービス）」など新規サービスメニューの拡充を図っております。

ii. 次世代シーケンス解析サービス

次世代シーケンス解析サービスにおきましては、顧客の目的に合わせた実験デザインの提案、データ解析およびサポートに力を入れております。また、「16srRNA細菌叢解析」、「Cancer Panel解析」など新規サービスメニューの拡充を図っております。

いずれのサービスにつきましても、他社との差別化を意識し、クオリティの高い内容をお客様に提供すべく取り組んでおります。

その結果、当期の売上高は大型案件の受注が翌年にずれ込むことなどにより、277百万円（前年同期比79.4%）となりました。

診断事業

診断事業におきましては、「免疫年齢サービス」（免疫細胞の加齢遺伝子の働き具合から体内年齢を予測するサービス）の拡充、および「DIVA-EGFRチェックサービス」（肺がん患者を対象とした組織由来DNA変異検出サービス）を開始いたしました。「リウマチチェック」（関節リウマチの薬剤効果予測検査）の多剤効果予測検査サービスにつきましては、多剤効果予測の特許申請、論文の投稿、先進医療の申請など、サービス開始に向け取り組んでおります。現在論文の投稿を完了し、専門誌への掲載を残すところとなっており、近日中にサービスを開始する予定です。

その結果、当期の売上高は、新規サービス（リウマチチェック）の開始の遅れなどにより6百万円（前年同期比87.0%）となりました。

平成28年6月

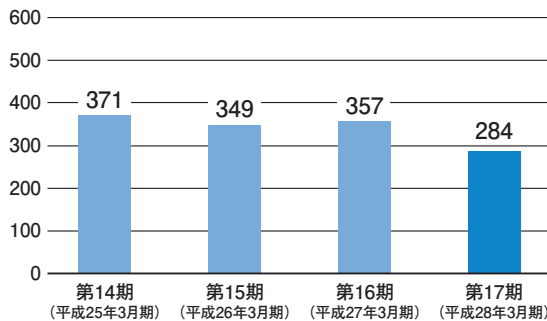
代表取締役社長 的場 亮

Contents

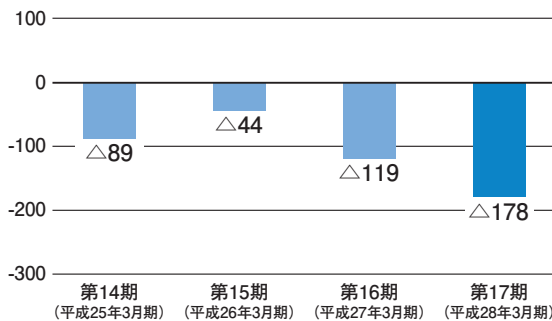
● 株主の皆様へ	1	● 事業の内容	5
● 財務諸表	3	● 会社の概況	6



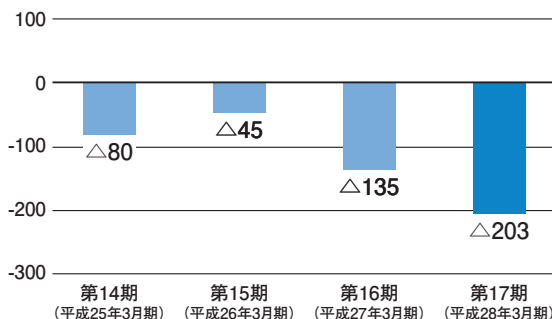
■ 売上高 (単位：百万円)



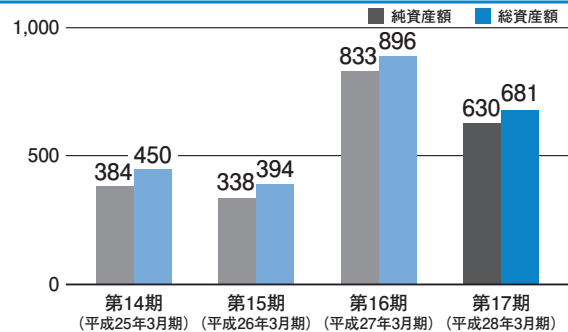
■ 経常利益 (単位：百万円)



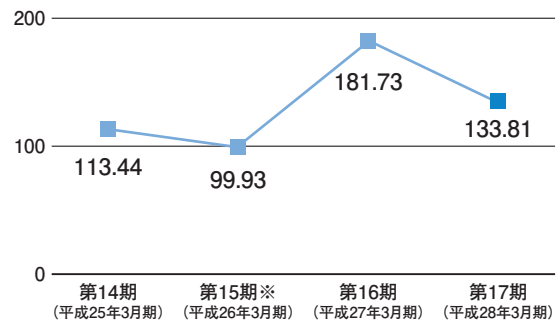
■ 当期純利益 (単位：百万円)



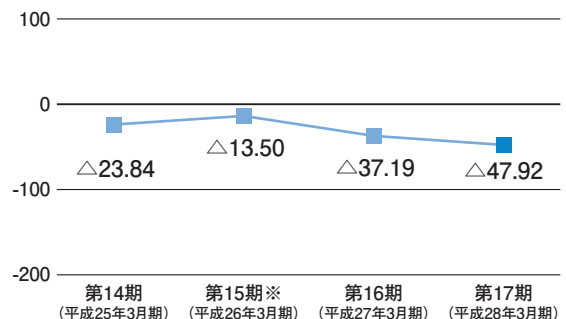
■ 純資産額／総資産額 (単位：百万円)



■ 1株当たり純資産額 ※ (単位：円)



■ 1株当たり当期純利益 ※ (単位：円)



※注1 平成25年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。第14期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、当期純利益を算定しております。

※注2 平成26年12月8日に第三者割当増資により発行済株式は848,000株増加しました。

財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	前事業年度 平成27年3月31日	当事業年度 平成28年3月31日	科目	前事業年度 平成27年3月31日	当事業年度 平成28年3月31日
資産の部			負債の部		
流動資産	892,704	610,644	流動負債	60,362	47,480
現金及び預金	790,908	498,968	買掛金	35,101	19,729
受取手形	20,996	20,276	未払金	1,267	—
売掛金	66,750	70,600	未払消費税等	963	—
商品	1,907	1,496	未払法人税等	4,289	6,257
仕掛品	—	82	未払費用	17,634	20,387
貯蔵品	3,023	1,332	預り金	1,104	1,105
前払費用	8,675	10,197	固定負債	3,110	3,813
その他	442	7,690	退職給付引当金	3,110	3,813
固定資産	4,162	70,977	負債合計	63,473	51,293
有形固定資産	1,456	47,460	純資産の部		
建物	0	36,896	株主資本	770,090	567,024
工具、器具及び備品	1,456	10,564	資本金	1,400,024	1,400,024
無形固定資産	2,500	1,500	資本剰余金	1,312,574	1,312,574
施設利用権	0	0	資本準備金	1,312,574	1,312,574
ソフトウェア	2,500	1,500	利益剰余金	△1,942,464	△2,145,530
投資その他の資産	206	22,017	その他利益剰余金	△1,942,464	△2,145,530
投資有価証券	0	0	繰越利益剰余金	△1,942,464	△2,145,530
その他	206	22,017	自己株式	△43	△43
資産合計	896,866	681,621	新株予約権	63,303	63,303
			純資産合計	833,393	630,328
			負債及び純資産合計	896,866	681,621



損益計算書

(単位：千円)

科 目	前事業年度	当事業年度
	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
売上高	357,321	284,156
売上原価	310,293	287,491
売上総利益又は売上総損失	47,027	△3,335
販売費及び一般管理費	146,456	175,506
営業損失	△99,428	△178,841
営業外収益	257	489
受取利息	137	414
為替差益	119	55
その他	0	20
営業外費用	19,882	—
株式交付費	8,105	—
新株予約権発行費	11,776	—
その他	—	—
経常損失	△119,053	△178,351
特別利益	—	3
その他	—	3
特別損失	15,875	23,334
減損損失	15,398	—
事務所移転費用	—	23,242
その他	477	92
税引前当期純損失	△134,928	△201,682
法人税、住民税及び事業税	986	1,382
当期純損失	△135,915	△203,065

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△30,740	△216,536
投資活動による キャッシュ・フロー	△15,176	△75,403
財務活動による キャッシュ・フロー	610,689	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	564,773	△291,940
現金及び現金同等物の 期首残高	226,135	790,908
現金及び現金同等物の 期末残高	790,908	498,968

株主資本等変動計算書

(自平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本						株 主 資 本 合 計	新株予約権	純資産合計
	資 本 金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金		自 己 株 式			
		資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金 合 計	そ の 他 利 益 剰 余 金 繰 越 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 合 計				
当期首残高	1,400,024	1,312,574	1,312,574	△1,942,464	△1,942,464	△43	770,090	63,303	833,393
当期変動額									
当期純損失 (△)				△203,065	△203,065		△203,065		△203,065
当期変動額合計	—	—	—	△203,065	△203,065	—	△203,065	—	△203,065
当期末残高	1,400,024	1,312,574	1,312,574	△2,145,530	△2,145,530	△43	567,024	63,303	630,328

事業の内容

■ 研究開発

DNAチップ研究所は、ライフサイエンス研究とバイオ産業に貢献する研究開発型ベンチャー企業です。以下を常に心がけ、研究に取り組んでいます。

1. 「創造的革新」をモットーに
2. グローバル化を意識した最高レベルの技術を磨き
3. 信頼関係に基づく共同研究と自己啓発に努め
4. 国際的情報収集、先進的情報解析能力を駆使し
5. この分野で第一の研究ベンチャーとして
6. レベルの高い研究成果を出すのに貢献する

■ 研究テーマ

→RNAチェック™



- 関節リウマチ薬剤効果予測、疾患マーカー探索
- 大腸癌診断用チップの開発とそれを用いたステージⅡ大腸癌の予後予測
- 悪性神経膠腫（グリオーマ）の予後予測アルゴリズムの開発
- うつ病マーカー探索
- 免疫年齢

■ 受託サービス



異なるプラットフォームを用いた多面的な研究受託サービスメニューの提供をいたします。実験計画のお手伝いから、実験、統計解析、論文作成など専門のスタッフが細やかにサポートいたします。

- マイクロアレイを用いた遺伝子発現解析、miRNA発現解析、ゲノム構造解析
- 次世代シーケンサを用いた遺伝子発現解析、Small RNA解析、エクソーム解析、メチレーション解析
- Real Time PCRによる遺伝子発現解析、miRNA発現解析
- 統計解析サービス

■ 診断事業（研究用）

-  リウマチチェック 関節リウマチ生物学的製剤インフリキシマブの効果予測検査サービス
-  MammaPrint（マンマプリント） 乳癌の再発リスクを予測する新しい検査サービス
- 免疫年齢：遺伝子発現による生体年齢予測検査サービス
- DiVA-EGFRチェック：血しょう遊離DNAのEGFR遺伝子低頻度変異検出サービス

■ 製品

-  ハイブリ先生 教育用DNAチップ教材
-  TBONE EX Kit：硬組織（歯牙・骨）用DNA抽出キット
- iCIS 臨床現場で研究に必要なデータをデータベース化する臨床インフォマティクス支援ソリューション
- iRIS 臨床現場向けの簡易な症状入力と診断情報の入力が可能な関節リウマチ問診システム



会社の概況

■ 会社概要

会社名 株式会社 DNAチップ研究所
英文名 DNA Chip Research Inc.
設立年月日 1999年4月1日
住所 東京都港区海岸一丁目15番1号
資本金 140,002万円
従業員 25名 (内Ph.D. 8名 役員含)
役員 代表取締役社長 的場 亮
 取締役 リム チュンレン
 取締役 横田 大輔
 社外取締役 田村 卓郎
 社外取締役 片山 登喜男
 社外監査役 山田 國夫
 監査役 酒井 崇
 社外監査役 吉田 春樹
 社外監査役 竹山 春子
加盟団体 社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム(JBIC)
 財団法人バイオインダストリー協会(JBA)
 NPO法人 バイオチップコンソーシアム (JMAC) 等

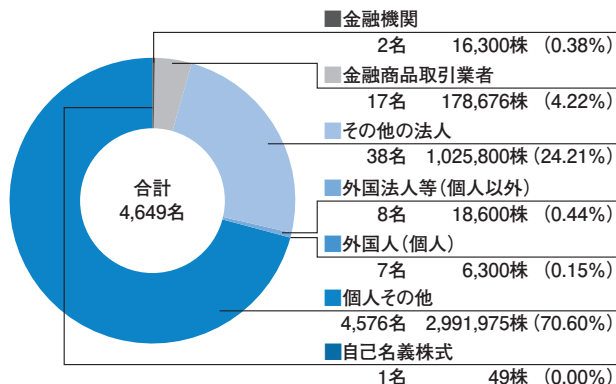
■ 株式の状況

①発行可能株式総数 10,080,000株
 ②発行済株式総数 4,237,700株
 (自己株式49株含む)
 ③株主数 4,649名

■ 大株主

株主名	持株数	持株比率
(株) エンブラス	848,000株	20.01%
(株) SBI証券	82,900株	1.95%
安東光輝	72,000株	1.69%
松原謙一	70,000株	1.65%
森 淳彦	70,000株	1.65%
(株) サン・クロレラ	70,000株	1.65%
枝松七郎	63,400株	1.49%
吉富逸雄	50,000株	1.17%
大塚榮子	48,000株	1.13%
藤尾晋作	47,900株	1.13%

■ 株主分布状況



■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当 3月31日（期末配当金）

受領株主確定日 9月30日（中間配当金）

定時株主総会 6月

公告掲載方法 電子公告
電子公告は当社のホームページに記載しております。
ホームページアドレス
(<http://www.dna-chip.co.jp/>)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の
口座管理機関 東京証券代行株式会社
東京都千代田区大手町二丁目6番2号
(日本ビル4階)

(郵便物送付先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(連絡先) 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711（通話料無料）

・住所変更等のお申出先について

お取引口座のある証券会社にお申出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申出ください。

(ご案内)

少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。

ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

■ 当社ホームページのトップ画面



<http://www.dna-chip.co.jp/>